



新たな学びプロジェクト

テーマ【生徒がICT（1人1台端末等）を活用することによる学びの変容】

○スクールミッション

【「ものづくり」をとおして地域や社会の健全で持続可能な発展を担う“工業人”の育成】

○教育重点目標（抜粋）

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・ICTを活用した新たな学習スタイルの確立を図る
- ・「人を育てる授業」の展開

全日制

教員のICT活用
スキル向上

教員のICT活用
授業実践・授業改善

生徒の1人1台端末活用
新たな学習スタイルへの挑戦

教務部の提案

【ICT導入】

- ・ICT導入の動画配信
- ・授業改善の啓発通信発行
- ・ICTの環境整備
- ・ICT支援委員との連携



【動画配信】

【AL推進・授業改善】

- ・授業アンケート
- ・AL推進自己評価（職員）
- ・基礎学力向上への通信発行
- ・観点別評価の改善



【授業アンケート】

企画部の提案

- ・校内研修（ICT導入）
- ・ICTを導入した研究授業
- ・研究授業合評会でKJ法によるICT導入の効果検証
- ・校外研修の参加促進



【KJ法での授業評価票】

実践 電子黒板とChromebookの活用



効果：個別最適な学び＋活動時間確保

実践 会議アプリ活用（社内会議を想定）



効果：対話的な学び＋社会に出る準備

実践 スプレッドシートで即座に集計



効果：実習データ集約の短縮＋技術力

挑戦 発表者への評価共有と評価を基に発表者が自己評価



効果：発表後すぐ他者の意見に触れる対話的な学び
＋意見から自身を振り返る更なる学び
＋発表や評価シートから思考や表現の観点別評価

（生徒が端末を使用して入力）

挑戦 Google Jamboardを活用した協働的な学び



効果：スムーズな意見交換と気づいた事をすぐ共有できる対話的な学びの更なる質向上
＋班活動を次回の復習ですぐに提示できることでの知識の定着と深い学びへの接続

【課題】

- ・生徒1人1台端末等を導入した授業展開の更なる研究
- ・ICT活用による深い学びに向けた授業改善の推進
- ・ALの評価規準の明確化

【成果】・教員のICT導入意識が高まり、新たな学習スタイルの確立に向けた授業改善が進行 →生徒の主体的な学びを目指した授業展開
・主体的な学びや対話的な学びを導入した授業展開の増加
→生徒も授業での発言が増加し積極的に授業に参加

定時制

A【定時制のICT活用推進目標】

「ICT機器を文房具の1つに」

～教員・生徒が日常的にICT機器を使用するようになる～

★ICT活用推進のための課題

- ① ICT活用事例の情報収集
- ② ICT活用の気運を高める
→今年度の重点課題
- ③ 分掌のつながりを強める
- ④ 二項対立から脱却する
※R4教務主任研修会より



「工業情報数理」で統計データを作成して「公共」「保健」の授業で考察する様子

B【実践】

○ALの手法を取り入れることやICTを活用することを条件とした「公開授業」を実施
1人1台端末/大型提示装置/Google Forms/Google Jamboard 等 ※教科横断的な取り組みも実践

C【成果】

- 教員・生徒のICT活用への興味・関心の高まり
- ICT活用方法の実践・情報共有
- 定時制生徒の特性を考慮した、ALにおけるICT活用の試行

D【課題】

- 機器の操作に時間がかかってしまい、予定していた内容を1コマで終わらせることができなかった
→教員・生徒のICT活用能力の向上と、活用が効果的な場面の見極めが必要